


山岳地域における歩道のあり方

第2回自然公園のあり方懇談会

平成15年2月14日

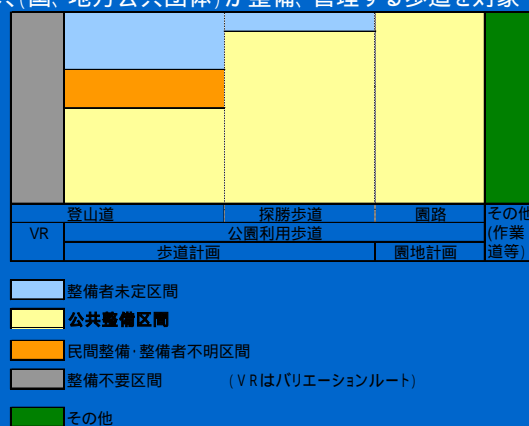


山岳地域における歩道のあり方

- 歩道に対する考え方と現状
- 今後の山岳地域の利用
- 山岳地域の歩道にかかる基本的課題
- 検討課題と対応の方向

自然公園内の歩道

- ・自然公園内には様々な歩道
- ・公共(国、地方公共団体)が整備、管理する歩道を対象



歩道の類型

主な利用目的	主な利用者層	標準的な服装(靴)のイメージ	歩道の類型
登山	登山者	登山靴 ↑ トレッキングシューズ	登山道
自然探勝・自然体験	自然愛好家 ハイカー ウォーカー等	トレッキングシューズ ↑ ウォーキングシューズ スポーツシューズ	探勝歩道
散策・観光 駐車場と興味地点の移動 施設間の移動	一般観光客等	↑ タウンシューズ	園路

歩道に対する考え方と 現状

- 1 歩道に対する考え方
- 2 歩道整備の基本方針
- 3 歩道整備事業の枠組み
- 4 歩道の現状

1 歩道に対する考え方

- 歩道は、自然公園の利用を推進するうえで、最も基本的な施設
 - 「自然を理解するには五体五感で直接的に自然を体験することが最も効果的であり、そのための手段としては自らの足で「歩いて」ふれることが基本となるべきものである。」
 - （自然環境保全審議会「自然公園等における自然とのふれあいの確保の方策について」平成7年7月 より）

2 歩道整備に関する基本方針

- 様々な利用目的に応じた機能
 - 登山、自然探勝等の利用目的に適った自然とのふれあいが楽しめる施設として整備
- 線的な整備
 - 自然環境への影響をできるだけ少なくするよう十分に配慮

3 歩道整備事業実施の枠組み

- 法制度
 - 公園計画決定、公園事業決定、公園事業執行
- 整備の手順
 - 基本計画、基本設計、実施設計、施工
- 整備主体
 - 国立公園：国、都道府県、市町村
 - 国定公園：都道府県、市町村

4 歩道の現状

- 国立公園内の山岳地域の歩道の延長：
約2,800km
 - (公園計画に位置づけられ、かつ北海道は、標高1,000m、本州以南は標高1,500m以上に位置する区間の延長)

4 歩道整備の現状 ～整備事例～

- 多様な規模、形態、工法による整備

歩道のタイプ別整備事例(1) 登山道タイプ



現場の石を用いて周辺景観になじむよう整備された石組階段



ササ帯の土壌流亡が進んだ場所で、丸太土留めを併用しながら、現場の浮き石を処理して整備



蘚苔類等が生育する脆弱な環境で整備された木道

歩道のタイプ別整備事例(2) 探勝歩道タイプ



水辺環境の探勝ルートとして整備された木道



樹林内に整備された碎石の道



園地から登山道へ移行するルート上で、路面排水(水の分散)と自然性を配慮して整備された自然石とアスファルトによる歩道



集団施設地区内のメインプロムナードとして整備された石張り枕木による歩道



園地内を周回する散策路として整備された自然石洗い出しの平板舗装

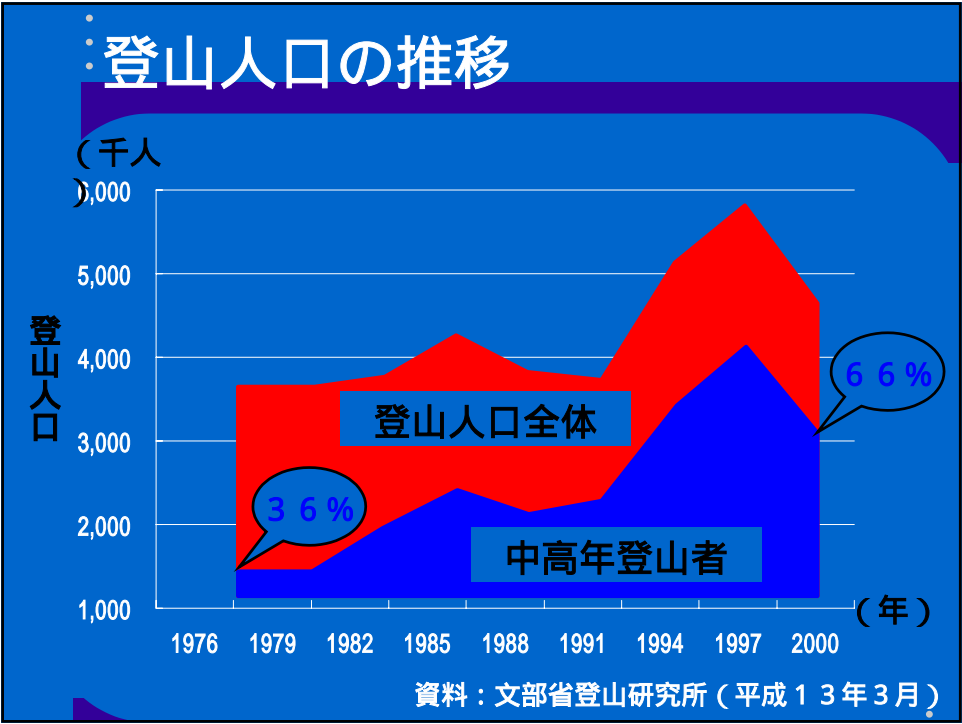
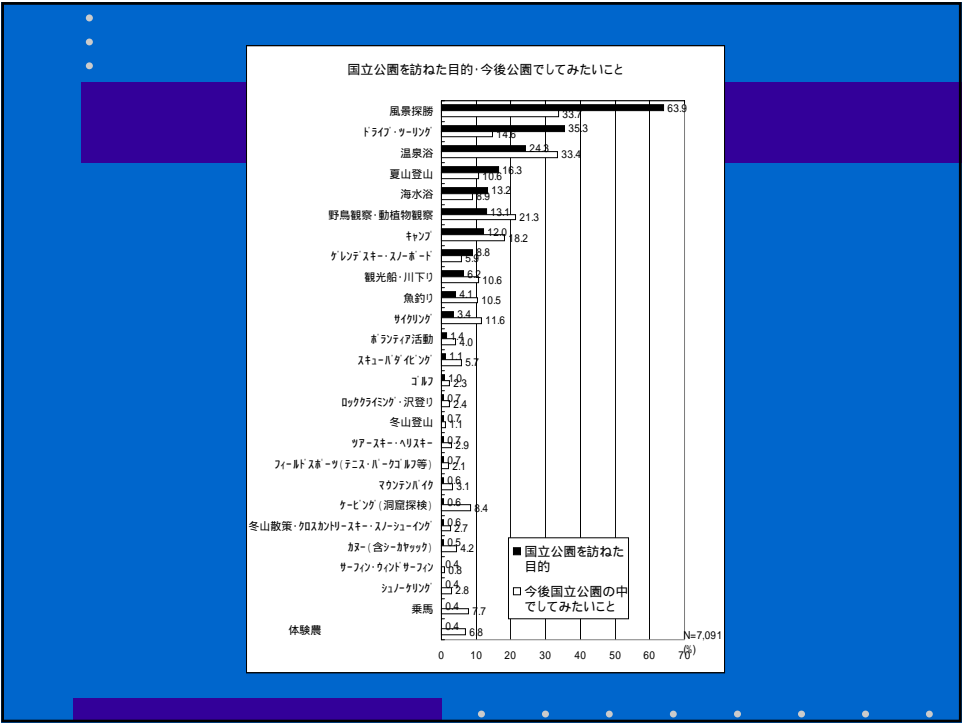


園地内に散策路として整備されたソイルセメントによる歩道

歩道のタイプ別整備事例(3)

園路タイプ

今後の山岳地域の利用



余暇活動の潜在需要(2001)											
(%)											
		1位		2位		3位		4位		5位	
男	全体	海外旅行	34.3	国内旅行	18.2	オートキャンプ	10.7	コンサート	10.0	陶芸	9.3
	男性全体	海外旅行	33.2	国内旅行	16.8	オートキャンプ	13.8	登山	9.1	スポーツ観戦	8.5
	10代	海外旅行	46.2	ダイビング	25.6	スキー	21.8	ドライブ	19.3	スノーボード	17.9
	20代	海外旅行	40.3	国内旅行	22.1	オートキャンプ	16.8	スポーツ観戦	12.1	スキー	10.1
	30代	海外旅行	40.4	オートキャンプ	24.8	国内旅行	24.3	コンサート	14.3	スポーツ観戦	13.8
女	40代	海外旅行	43.9	国内旅行	20.9	オートキャンプ	16.8	コンサート	12.7	スポーツ観戦	11.8
	50代	海外旅行	28.6	国内旅行	12.6	陶芸	11.8	オートキャンプ	10.3	登山	9.4
	60代以上	海外旅行	14.8	国内旅行	9.2	水泳	8.4	釣り	7.8	パソコン	6.0
	女性全体	海外旅行	35.3	国内旅行	19.4	水泳	12.7	陶芸	11.6	コンサート	11.4
	10代	海外旅行	54.5	国内旅行	22.8	ダイビング	19.7	スキー	15.1	オートキャンプ	15.1
性	20代	海外旅行	45.7	国内旅行	29.1	水泳	21.1	コンサート	19.6	スノーボード	18.1
	30代	海外旅行	44.6	国内旅行	23.3	コンサート	21.2	観劇	14.2	スキー	13.7
	40代	海外旅行	43.3	国内旅行	22.7	パソコン	18.4	陶芸	15.6	コンサート	14.4
	50代	海外旅行	29.5	水泳	17.2	国内旅行	13.5	陶芸	12.3	絵画・彫刻	9.4
	60代以上	海外旅行	15.7	国内旅行	11.6	水泳	10.6	陶芸	7.9	観劇	7.1
		6位		7位		8位		9位		10位	
男	全体	登山	7.8	スキー	7.7	水泳	7.5	観劇	7.2	ダイビング	6.8
	男性全体	コンサート	8.4	スキー	7.5	釣り	7.4	ダイビング	6.9	陶芸	6.9
	10代	国内旅行	17.9	オートキャンプ	16.6	ゴルフ	14.1	遊園地	14.1	コンサート	12.9
	20代	ハンググライダー	10.1	コンサート	10.1	登山	9.6	ダイビング	9.1	ビデオ制作	8.6
	30代	スキー	12.9	登山	11.9	海水浴	11.0	ダイビング	9.6	ハンググライダー	8.7
女	40代	登山	11.8	釣り	11.2	模型づくり	11.2	陶芸	10.2	ゴルフ	8.1
	50代	絵画・彫刻	8.5	ハイキング	8.0	ジョギング	7.1	釣り	7.1	囲碁	7.0
	60代以上	陶芸	4.9	絵画・彫刻	4.6	催し物・博覧会	4.6	書道	4.2	スポーツ観戦	3.9
	女性全体	観劇	8.5	スキー	7.9	オートキャンプ	7.8	ハイキング	7.4	エアロビクス	6.9
	10代	乗馬	13.7	スノーボード	13.7	宝くじ	13.7	ドライブ	12.1	遊園地	10.6
性	20代	料理	18.1	スキー	17.1	ダイビング	16.1	オートキャンプ	16.1	遊園地	15.1
	30代	ダンス	13.4	エアロビクス	13.3	オートキャンプ	13.0	陶芸	12.9	水泳	10.0
	40代	水泳	11.9	ハイキング	11.4	社交ダンス	9.8	観劇	9.3	オートキャンプ	9.3
	50代	絵画・手芸	8.2	登山	8.2	書道	7.8	パソコン	7.4	社交ダンス	7.0
	60代以上	書道	6.5	催し物・博覧会	5.5	ジョギング	5.1	絵画・彫刻	4.1	文芸創作	3.8

注：数字は参加希望率と現在の参加率の差 出典：余暇活動開発センター(2002)：レジャー白書2002

高山・亜高山帯等、脆弱な自然環境下における 国立公園の利用拠点の事例					
公園名	地区名	アクセス(車道・索道)	拠点及び周辺の地主	拠点の標高	拠点及び周辺の保護規制計画
大雪山	富良野市富良野	富良野ロープウェイ	高山帯 コケモモ・ハイマツ群集、杉林帯	1,800m	終点部：第1種特別地域 高山部：特別保護地区
中阿蘇山	宇佐市宇佐	八甲田ロープウェイ	高山部 オオシラビシ群集、連座	1,300m	終点部：第1種特別地域 高山部：特別保護地区、第1種特別地域
	八幡平町	八幡平アスビーテライン 八幡平遊歩道	高山部 オオシラビシ群集	1,500m	終点部及び高山部：特別保護地区
智恵子峠	赤松市赤松	片山遊歩道	高山部 チシマササゲ群集、高山部	1,400m	終点部：第1種特別地域 高山部：特別保護地区
	宇土市宇土	御神楽湯スカイライン	高山部 火山部	1,600m	終点部：第1種特別地域 高山部：特別保護地区、第1種特別地域
田舎	尾瀬・碓氷峠	車道	高山部 ササキ・ササキハ群集	1,500m	終点部：特別地域(特別地区未定) 高山部：特別保護地区
	新島郡新島	新島ロープウェイ	高山部 ハイマツ群集	1,500m	終点部：第1種特別地域 高山部：第1種特別地域
中部山岳	立山町立山	立山黒部アルペンルート	高山部 コケモモ・ハイマツ群集	1,400m	終点部：第1種特別地域 高山部：特別保護地区、第1種特別地域
	西穂高町	御神楽湯ロープウェイ (御上区)	高山部 シラビソ・オオシラビシ群集	1,350m	終点部：第1種特別地域 高山部：特別保護地区、第1種特別地域
上信越国	白根町	万葉ハイウェイ、 志賀草津温泉ルート	高山部 シラビソ・オオシラビシ群集、 コメツサ群集	1,310m (2,400m)	特別地域(特別地区未定)
	天祥寺町	山内山ロープウェイ	高山部 ササ群集、連座	1,250m	特別地域(特別地区未定)
富士箱根伊豆	富士山五合目 (富士宮口、吉田口) 周辺	富士山スカイライン (静岡側) 富士山スカイライン (山梨側)	高山部 シラビソ・オオシラビシ群集、 オオシラビシ群集、 火山部	1,500m (富士宮口五合目) 1,550m (吉田口五合目)	終点部：第1種特別地域(静岡側側)、 第2種特別地域(山梨側側)、 高山部：特別保護地区
吉野厳霊	大谷町大谷	大谷町源下ドライブウェイ	高山部 トウヒ群集	1,310m	終点部：第1種特別地域 高山部：特別保護地区

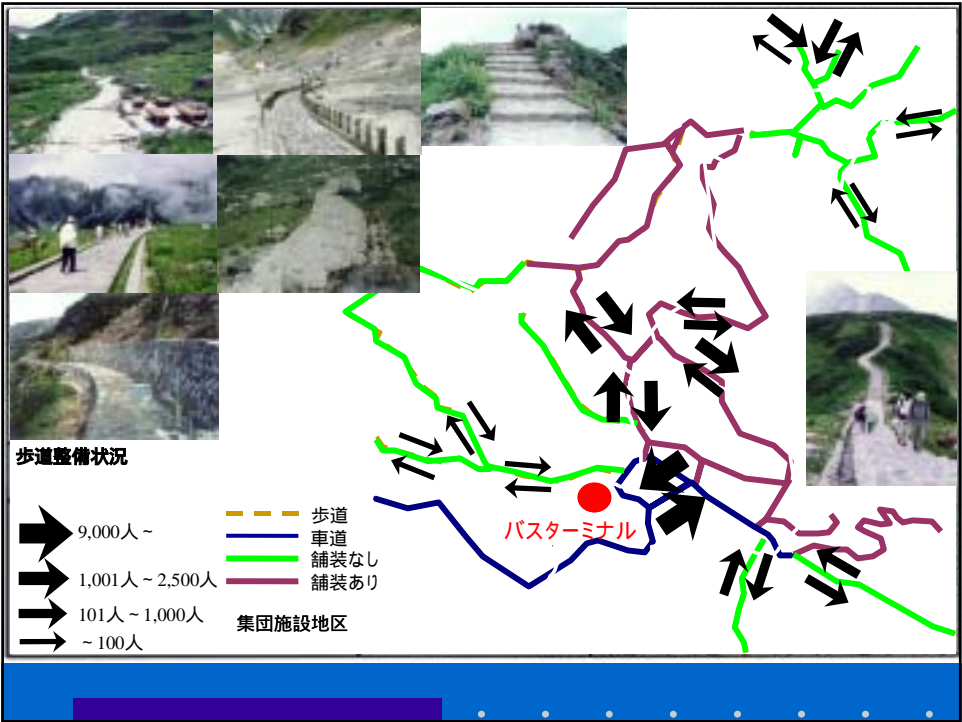
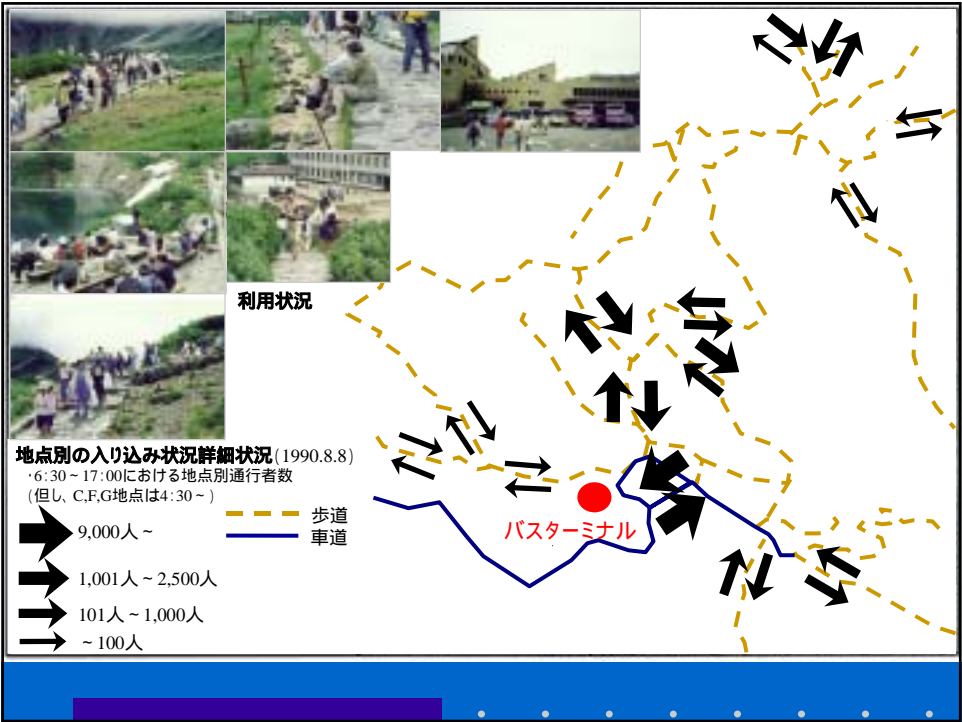
山岳地域の歩道に かかる基本的課題

- 登山道と探勝歩道、園路をいかに併存させるか。
- これらの歩道を如何に適切に整備・管理していくか。

立山黒部アルペンルート

著作権の関係上、写真を削除しております

この場所には、立山黒部アルペンルートの地図が掲載されていました



(1) 登山道と探勝歩道をいかに併存させるか
歩道整備に論議を呼んだ事例

施工後



施工前



中部山岳国立公園 立山室堂周辺

室堂の植生回復



施工前の状況



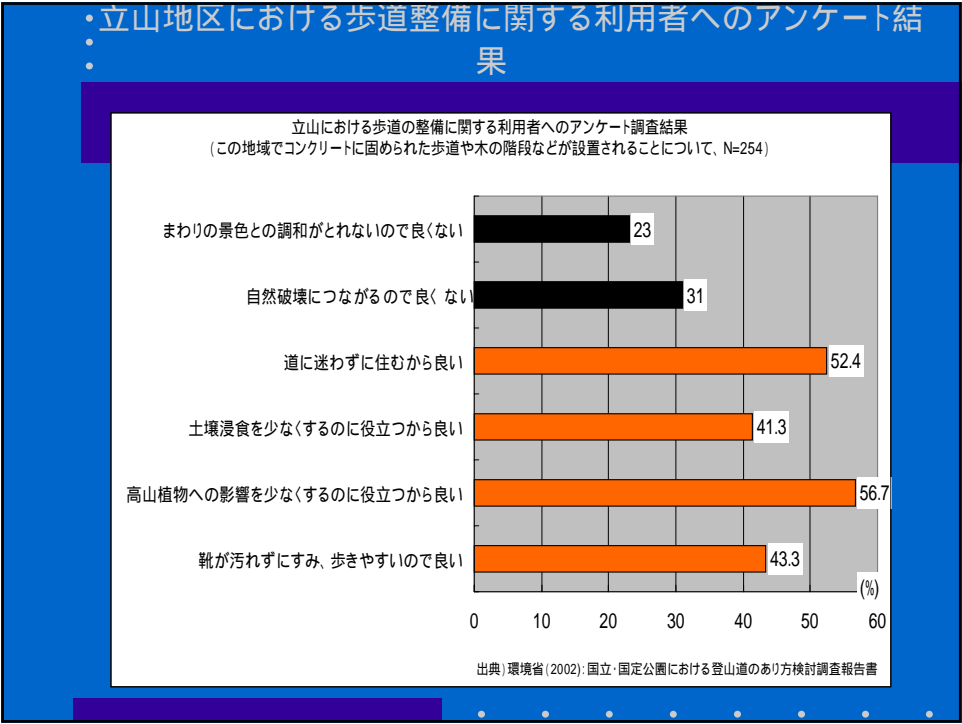
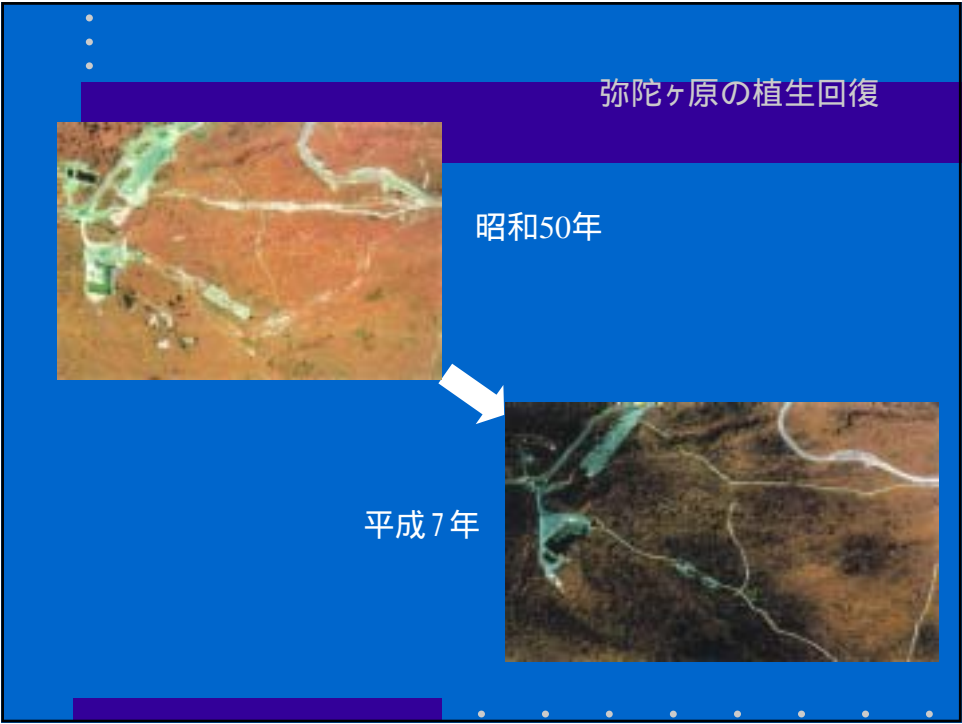
昭和51年

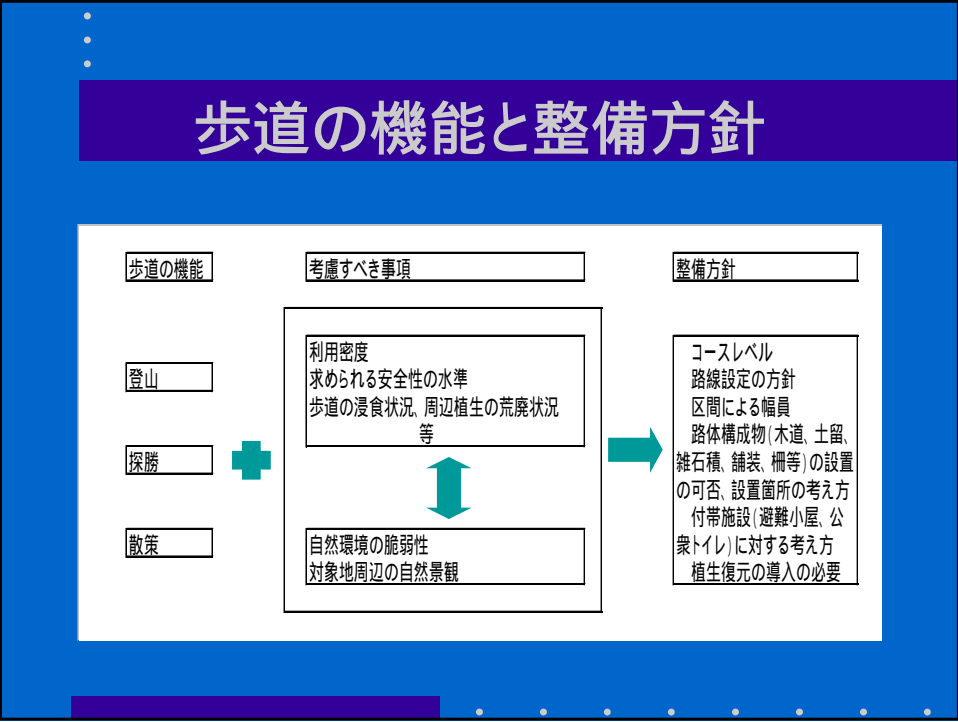


植生保護中



平成31年





(2) 山岳地域の登山道、探勝歩道等を如何に適切に整備・管理していくか。



踏圧により登山道の表土が流出し、周辺樹木の根系が露出している。根系の下の土壌流出が進むと、歩きにくくなり、周辺への踏み出しが生じる。



林内での土壌浸食(ガリー) 降雨時には川となり、洗掘が進む

ササ帯での土壌侵食 登山道が水みちとなり、縦侵食の浸食が著しい。

利用調整の例

公園名	日光国立公園（尾瀬地区：至仏山）
背景要因	環境面：蛇紋岩質の土壌であるため、希少な植物が生育するが基盤は脆弱 利用面：週末、紅葉期等や集団登山による利用の集中 残雪期のスキー利用 踏圧などによる裸地化や希少な植生の荒廃が進行
利用適正化への取り組み	昭和57年 群馬県が、自然環境分野の有識者により構成される「 尾瀬保護専門委員会 」設置 昭和63年 昭和63年まで7年間、踏みつけ等による雪田群落等の荒廃に関する調査と提言 平成元年 尾瀬の保全対策を協議するために環境庁、関係県・村からなる「 日光国立公園尾瀬地区保全対策推進連絡協議会 」を設置 平成3年 「尾瀬保護専門委員会」の提言を受け、上記協議会で至仏山東面登山道閉鎖を決定 平成9年 至仏山の登山道復元手法等を検討するため、環境庁が「尾瀬至仏山登山道保全対策検討調査」を実施 平成10年 群馬県による東面登山道整備開始 平成14年 群馬県による東面登山道整備完了 上記協議会で登山道閉鎖解除を決定 上記協議会で残雪期（5/11～6/30）の登山道閉鎖を決定 至仏山の保全対策を検討するため、（財）尾瀬保護財団が環境省、群馬県、片品村、東京電力、尾瀬山小屋組合などからなる「 至仏山保全緊急対策会議 」設置 上記会議にて保全対策に係る基本方針を検討中



工夫している整備事例(1)

丸太土留めと路面洗掘防止の
ふとん籠 蛇籠の併用整備事例
水通し線を歩道中央部に設け、脇から
の侵食を防止 (砂防技術)



丸太土留めと石の埋め戻しによる整備
丸太の横木と侵食壁面のすき間に石を組み込み
脇からの侵食を防止



工夫している整備事例(2)

露出した根系の
間に石を埋め、土砂流出
防止を図る

大きなガリー部にふとん籠と
木製階段の組み合わせで
整備した例